

# 地域住民のみなさまへ

トマト黄化葉巻病のまん延防止にご協力ください！

八代地域は「**全国一位**」を誇る**トマトの大産地**です。  
しかし、コナジラミ類(下写真)が媒介するウイルスによって、八代全域で「**トマト黄化葉巻病**」「**トマト黄化病**」による被害が増加しています。八代の基幹産業であるトマト等の野菜生産を守るには、**農家の努力**だけでなく、**地域住民の皆様のご理解とご協力が不可欠**です。



## コナジラミ類

体長：約1mm  
体色：白色  
雑草や家庭菜園等に生息

トマトやミニトマトを栽培されている学校菜園、家庭菜園などで、右写真のような症状が出たまま放置されると、その菜園が**トマト黄化葉巻病の強力な感染源**となります。

そして、**トマト黄化葉巻病のウイルスがコナジラミによって八代地域全体に運ばれ、病気がまん延し、大きな被害となるおそれがあります。**  
(コナジラミは風に乗って数十キロ移動できます。)

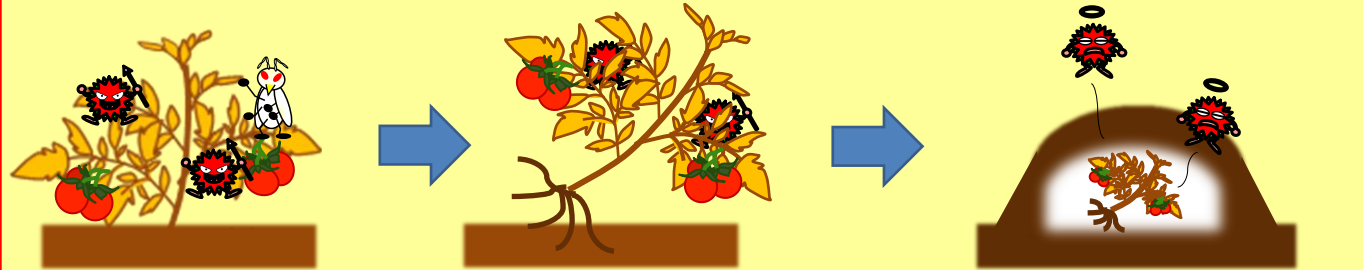
## ★被害を防ぐためにやっていただきたいこと

菜園で栽培される場合には、コナジラミや病気が発生していないか十分確認して下さい。

もし、右写真のような病気のトマトを見かけたら、**次の方法で確実に処理**して下さい。

- ① **果実が残っていてもすぐに株ごと抜き取る。**
- ② **土の中に埋めるか、ビニール袋などに入れ、燃えるゴミへ。**

※植物全体にウイルスがいるため、病気の部分だけ取り除くのはNGです。



1. 病気の発生・発見

2. 株ごと抜き取る

3. 土の中 or 密封して燃えるゴミへ

## ↓↓ 次のような症状にご注意下さい ↓↓

### ① トマト黄化葉巻病

まず、株の上部が黄化し、萎縮してきます。その後芽先の伸びが止まり、着果せず、やがてハウス全体に蔓延し、収量は激減します。

葉の裏を探すとコナジラミが見られます。



### ② トマト黄化病

発病の初期には、葉の一部の葉脈間が退緑黄化し、斑状の黄化葉となります(苦土欠乏症に良く似ています。)

症状が進展すると葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化し、えぞ症状や葉が上側にそり上がります。

生育が抑制され収量が減少する傾向が見られます。



葉脈に沿って緑色を残して黄化する



葉が上側に反り上がる

## 八代全域の皆様へ「一斉除草」のお願い

トマトの被害を防ぐためには、コナジラミ類の生息・繁殖場所となる雑草などを除去することが最も効果的です。

以下の期間において、八代全域で「一斉除草」に取り組み、害虫の住みにくい環境づくりをしていただくことが、ひいては、地域の環境美化にも繋がりますので、地域の皆さまのご協力をお願いします。

**実施期間：令和8年6月20日(土)～30日(火)**

日程が前後してもかまいませんが、地域全体で一斉に実施することが効果的です。

# 「施設園芸」農家のみなさまへ

トマト黄化葉巻病・トマト黄化病の被害が続いており、コナジラミ防除対策が大きな課題です。

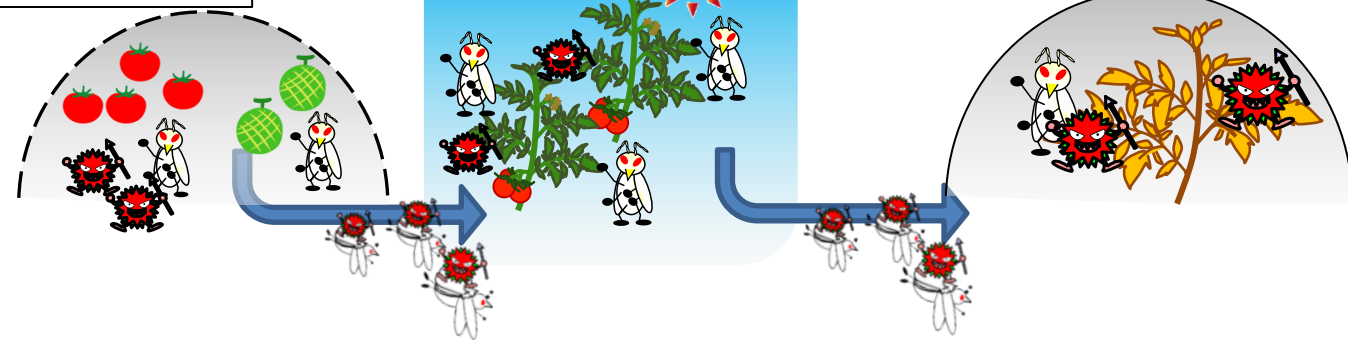
次年度産の被害を抑えるために、生産者と地域が一丸となった取組が重要です。

## 悪い例

① 栽培終了後の閉め込み・蒸込みが不完全

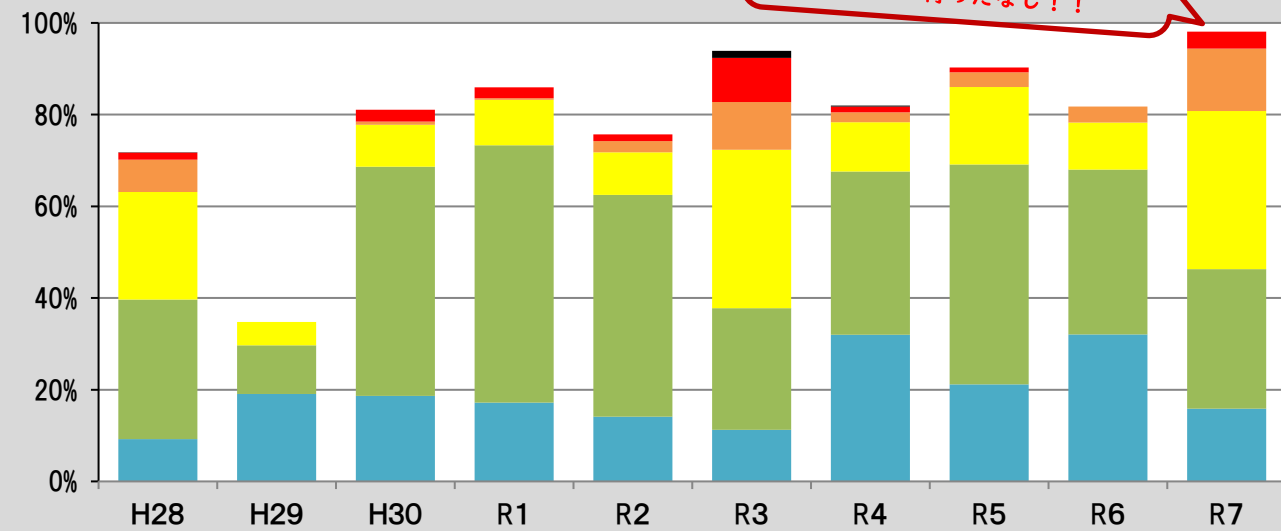
② コナジラミがハウス外に飛散

③ 屋外で増殖



8月以降  
トマトで被害

## トマト黄化葉巻病発生ほ場率



近年最高98%のほ場で発生し、発生株率20%以上がR3年並み。対策の継続は待たなし！！

次作への伝染を断ち切る最も重要な作業です。  
栽培終了後には必ず行ってください！

- ① 密閉処理の効果を高めるため、株を抜くか、地際で切り離し、株を枯らす。
- ② 株が枯れた後、10日以上ハウスを密閉してコナジラミを確実に駆除し、ハウス外に出さない。  
  - ・ トマト、メロン、イチゴ、ナスなど施設野菜全般。
  - ・ 天候不良等でハウス内の温度が上がらず、枯らすのに時間がかかる場合は、殺虫剤を併用する。
- ③ ウイルスを保毒したコナジラミを野外で増やさないため、屋外にトマトを放置せず、伝染源となる野良生えを作らない。

栽培終了後の蒸し込み  
(50℃以上の高温に保つ。)



廃棄したトマトから  
多数発芽→野良生え化



※コナジラミの寿命は平均約30日、最長約60日。子孫にはウイルスを引き継ぎません。ウイルスをもった植物さえなければ、伝染は断ち切ることができます。

「トマト栽培期間」の申し合わせは原則、次のとおりとなっています。  
**収穫終了(本年産):6月25日まで**  
**定植開始(次年産):8月15日から**  
みんなでやれば効果が出ます。ご協力をお願いします！

「トマト黄化葉巻病」は、非耐病性品種での被害が甚大ですが、黄化葉巻病耐病性品種でも発症します。黄化葉巻病で苦労しないために、改めて地域一丸となった対策を再確認してください。

### 八代地域緊急病害虫対策会議

熊本県県南広域本部、八代市、氷川町

JAやつしろ、八協連、各トマト生産出荷組織、トマト黄化葉巻病対策作業部会

事務局:熊本県県南広域本部農林水産部農業普及・振興課